

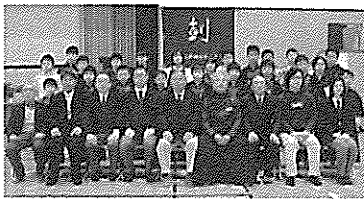
松尾公民館剣道部

剣道で礼節を学ぼう

代表 松島 王映

松尾剣道部では、剣道の稽古を通じて様々な経験をすることで人間形成を目的として、「大きな声で元気よく最後までやり通す」の精神で日々の稽古に取り組んでいます。皆で稽古をする中で集団的行動や、礼儀作法を学び、思いやりや、気配りの心を持ち、当たり前の事を当たり前に出来る様に、また、今、剣道の稽古が出来る事、そして、その機会を与えてくれた仲間や、保護者に感謝し、全力で取り組むように指導しております。

先日、武道館において飯伊地区剣道大会が開催され、個人戦が行われました。小学生五年の部で優勝、六年の部では優勝と三位の良い結果を残せました。今年度は、八名の新入部員を迎えることが出来ました。剣道は、「礼に始まり礼に終わる」の精神で体力、精神力を学ぶには良いと思います。稽古は、毎週火曜日、土曜日の午後六時半から九時まで行っていますので、是非、見学にお出かけください。お待ちしております。



松尾少年マレットゴルフクラブ

集中力を楽しもう

部長 伊原 公彦

松尾少年マレットゴルフクラブを始め

て早四ヶ月になろうとしていますが、初めはスティックにボールが当らず皆苦戦をしていました。今ではボールを狙って打てるようになってきています。もうすぐコースに出られるようになってきます。ボールを打つ時は打つことに集中しないとボールに当たりません。打ったボールがホール穴に入ったときは皆さんと嬉しさが溢れます。マレットゴルフは一人でも大勢でもできるスポーツです。

毎月第二・第四土曜日午前九時から教室を開いています。大人の熟練者の方が指導してくれていますが、直ぐに追いついてくれることでしょうか。毎年七月には、マレット祭りを開催して楽しいイベントも行っています。運動靴さえあればいつからでも参加できますので体験入会でもかまいません。両手を広げて待っています。



松尾相撲クラブ

松尾に帰って来た松村豊杯

代表 清水 里香

長野県小学生相撲選手権大会には大変大きなトロフィーがあり「松村豊杯」と呼ばれています。松尾地区では「松村豊先生」をご存知の方も多いかと思います。が、全日本相撲連盟会長を務められ、七年前にお亡くなりになりました。松尾明のご出身で、松尾小学校を卒業されています。こういった経緯から、小学校校

クラブ・教室だより

庭に土俵ができ、土俵マットや倉庫までご寄付賜り、現在の相撲クラブへと繋がっております。私自身、完成直後の土俵開きの手伝いに伺ったところ、「松尾の相撲を頼むな」という松村先生の一言から、長野県で相撲の指導をする事になり今に至ります。今年、相撲クラブ発足十周年です。県大会に出始めて十一回目の本年、快挙となる初の団体優勝を成し遂げ、大きな大きな「松村豊杯」を松尾の地に持ち帰ることが出来ました。

長野県の相撲は、御岳海育った木曾の一強、次いで老舗的な長野・塩尻、振興の松尾・駒ヶ根となりますが、二十チームで競う県団体戦では優勝と二位入賞を果たし、二チームが北信越大会へ進出することが出来ました。強豪の木曾が入賞できないなかこの結果は感涙の極みでした。十年目にして初めて、優勝杯を持ち帰ることが出来、奥様にも報告しましたところ、先生のお仏壇にも墓前にも報告していただき、奥様も大変喜ばれていました。挨拶と礼儀を中心に活動してきた当クラブです。数年前に世界チャンピオンになった日大の後輩に「松尾は相撲じゃなく、挨拶で日本一を目指しているんですよ」と嘲笑されたことがあり、その時は悔しくて仕方ありませんでした。しかし、勝利至上的でなく、愚直に礼儀と挨拶、感謝の気持ちで胸に活動し続けてきた結果、県下一のクラブになったことを誇りに思いますし、子供達とやってきたことが間違いでなかったことを子供達が教えてくれました。

一方、石垣の間からは冷たい湧き水が出ていて、サワガニがすみ場所に利用してしました。言わば「きれい」と「きたない」が同居する環境でした。ところが、



育成会長より

地下水が溜まるように



青少年健全育成会 松澤 秀明

日頃、子供達の活動を支えてくださるご家族や地域の皆様、学校の先生方への心からの感謝の気持ちを、これからも変わらず子供達が伝え続けてくれることと思います。いつも、ありがとうございませう。これからもよろしくお願致します。

『チーズと発音すれば、笑い顔をつくる事ができます。でも、ほほえみはつくれません。ほほえみは気持ちの奥から自然に湧いてくる泉ですから、その地下水の水脈を持っているかどうか、なのでからめったに笑わない顔があります。でも澄んだきれいな眼をしています。いつも遠くをみつめていて、なんだか怒っているような表情です。しかし彼は怒っているではありません。地下の水脈に水を溜めている最中なのです。水が満たされて、彼がほほえむのはいつの事？ 誰に対して？ たぶん、そのために、明日があります』

毎日のように少年や大人の重大犯罪が報じられています。「地下の水脈に水が溜められ、ほほえみ返しができるように」家庭と学校と地域とが連携して、ゆとりとあたたかな眼差しを持って、子どもに関わっていききたいです。

松尾育成会便り

令和元年度
第41号
松尾地区まちづくり委員会
公民館育成部
青少年健全育成会

松尾の川はきれいになっていく??

「水中生物を捕まえよう!」を実施

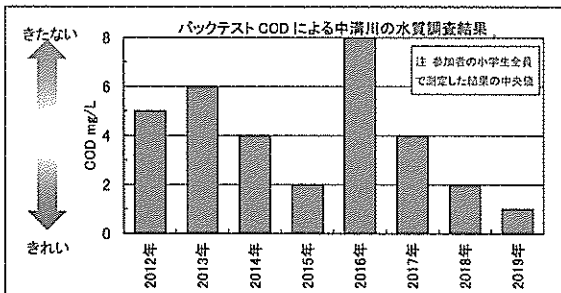


六月十五日(土)、雨が心配されましたが、幸いにも降られることなく中溝川にて「水中生物を捕まえよう」を実施しました。子ども達は、中溝川にて虫網と虫かごを使い、夢中で水中生物を捕まえていました。たくさん取れた生き物たちは、どんな水質の川に棲む生き物なのかを観察しながら確認しました。

中溝川の水質改善を実感

天竜川総合学習館かわらんべ 久保田 憲昭

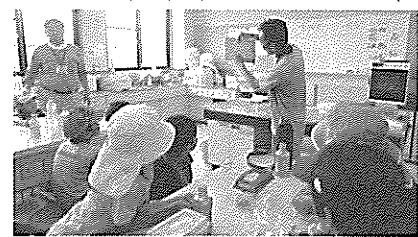
私が中溝川の生き物観察と水質調査を手伝いするようになって八年、当初は「きれい」とは



昨年から今年にかけて、分析した数値は「きれいな水」の範囲になり、「きたない水」の生き物の種類や匹数も減りました。改善の「きざし」が見えてきました。

もう一つ、大事な変化もありました。以前は、見つかる魚の大半が外来種のカワムツでしたが、今年から在来種のアブラハヤが増えってきました。絶滅危う種のドジョウやトノサマガエルも健在です。

流水の改善は進行しています。残る課題は川底の堆積物。川底の環境改善で昔ながらの生き物たちをもっと取り戻せるかもしれません。



参加してくれた皆さんの声

- 一年生の感想
 - いきものがしれてよかったです。
 - たのしかったです。
 - さかながいっぱいとれてうれしかったです。
 - ザリガニやヤゴがとれてよかったです。
- 二年生の感想
 - ドジョウやおたまじゃくしがとれてうれしかったです。あと、足がはえているおたまじゃくしがとれてよかったです。
 - みんなといっしょにおもしろい生きものがとれてよかったです。
 - 水がきれいか、きたないか、わかんなかったけど、じっけんをしたらわかってよかったです。
 - いきものがとれてうれしかったです。
 - いきものを見られてよかったです。
 - めずらしい魚をとれてよかったです。
 - おもしろかったです。
 - おも白かったし、川でとれない珍しい魚がとれてよかったです。
 - みんなで作れてよかったです。たのしかったです。
 - とてもでっかいザリガニがとれてよかったです。
 - 生きものがいっぱいつかまえてよかったです。
- 四年生の感想
 - たくさん水の中の生き物がとれて、うれしかったです。ザリガニや、ドジョウ、カワムツがいまいた。水しつ調べで、とても水がきれいだった。水しつ調べで、とても水がきれいだった。水しつ調べで、とても水がきれいだった。水しつ調べで、とても水がきれいだった。
- 六年生の感想
 - 水しつ調査が楽しかった。今年意外ときれいだった。

多様性尊重社会に向けて

松尾小学校校長 林 司



しきりに「ダイバーシティ」を唱える東京都知事小池氏ですが、この「ダイバーシティ」とは、「多様性」とか「相違」の意です。多様性を尊重できる世の中にしようという新しい政策理念です。松尾小学校でも、特別支援教育を学校運営の基盤として、インクルーシブ教育（人間の多様性の尊重を強化し、障がいのある無にかかわらず共に学ぶ仕組み）を進めています。子ども達は、純真な心と感性で、身近にいる友だちの特性を認めながら生活しています。が、なかなか認められないのが、私たち大人です。

そこで、松尾小学校PTA講演会では、まずLGBT※の理解を深めるために、その本人である長岡春奈さんをお呼びし、講演会を六月に行いました。LGBTとは何か。知ることから始めたのです。身近な方にも、子どもの中にも、苦しんでいる人が居るかも知れません。

※LGBTとは、女性同性愛者（LESBIAN）、男性同性愛者（GAY）、両性愛者（BISEXUAL）、トランスジェンダー（TRANSGENDER）の各単語の頭文字を組み合わせた表現です。

出張科学実験教室 モデルロケット飛ばせたい！

七月二十一日（月）に松尾小学校六年生を対象とした、モデルロケットの製作と打ち上げの教室を実施しました。当日は、おもしろ科学工房、松尾サイエンス、育成会のスタッフ二十四名により、児童達に作り方の指導を行い、雨模様の中ではありませんでしたが、本物の火薬で空高く打ち上げたロケットに、児童たちは歓びの声をあげていました。

思い出に残る科学実験教室

六年二組 佐藤 楓

今日は、科学実験教室がありました。まず、家庭科室でロケットを作りました。台におかれたロケットを見た時、自分もこれを作れるかと思うと、ワクワクしてきました。でも、作業を進めていくうちに、すごく難しく、みんなに追いついていけるか不安でした。特に、紙を指にまきつけていって、三角の形にしていく作業は、とても難しかったです。でも、スタッフのみなさんが、やさしく教えてくれたので、ロケットを完成させることができました。完成するまでにとっても大変でつかれたけれど、完成した時はとてもうれしかったです。

ロケットを打ち上げる前、とてもみんなうれしかったです。失敗しないか、高く飛ばるかと思うと、とても不安だったからです。打ち上げられた時、自分が思った



ていたよりも高く飛んだので、おどろきました。「なんで、あんなにとぶんだらう。」と、思ったけど、すごいなあと思いました。あいにくの雨だったけど、皆さんのロケットが飛んでいて感動しました。六年生で、科学実験教室は終わってしまうけど、その分、とても楽しくできたのでよかったです。

していて、とても楽しそうだなと、思っていたので、すごく楽しみました。ロケットを作るときは工夫したことは、外に空気がもれないように、しっかりとテープでとめるところを工夫しました。実際にロケットをとばしてみても、意外に音が大きくなってびっくりしました。雨や風は強かったけど、高くとんだのでよかったです。ほかにも、太陽系のことなどを教えていただいたので、とても勉強になりました。紙でロケットを作ることも初めて知って、びっくりしました。天気は悪かったけど、ロケット作りはうまくできたと思うので、よかったです。もっと科学のことが好きになりました。

科学実験教室

六年二組 稲垣 美心

今日、学校で科学実験教室がありました。そこでは、ロケットを作って打ち上げをしました。ロケットづくりは、ちょっと難しかったけど、大人の人が一緒に手伝ってくれたので、上手に作ることができました。製作だけでなく、アメリカ製の火薬（エンジン）の話とか、地球や木星などの星の話、人工衛星の話などたくさん話の星について話してくれました。私は、特に宇宙の話が好きでした。たくさんある星の中には、1,992kmとか142,984kmとか想像もできない位大きい星があることを知り、おどろきました。人工衛星で天気や、位置（GPS）がわかるのもすごいなと思いました。

ロケットを作るのは、細かいところもあって、難しかったです。でも、分かんなくなってきたときは実験教室の方に教えてもらいながら、完成しました。作ったロケットを打ち上げるときはとてもドキドキしました。一回目は不発だったけど、二回目は、勢いよく発射して、空高くまで飛んで行ってすごかったです。がんばって作ってよかったと思います。また作ってみたいです。

科学実験教室の感想

六年四組 代田 治成

今年も科学実験教室がありました。五年生のときは、液体ちっ素とリニアモーターカーの実験をしました。が、六年生ではモデルロケットを作って打ち上げました。ロケットを作るのは、細かいところもあって、難しかったです。でも、分かんなくなってきたときは実験教室の方に教えてもらいながら、完成しました。作ったロケットを打ち上げるときはとてもドキドキしました。一回目は不発だったけど、二回目は、勢いよく発射して、空高くまで飛んで行ってすごかったです。がんばって作ってよかったと思います。また作ってみたいです。



上溝地区

上溝子ども獅子舞保存会

松尾小学校六年四組 三石 圭祐

ぼくは、保育園年長の時に、小学校三年生のお兄さんといっしょに、上溝子ども獅子舞保存会に入りました。その頃は、子どもの会員が四名で少なかったけど、今は、保育園、小学校の児童合わせて、十五名で活動をしています。

上溝子ども獅子舞保存会は、今から七年前の平成二十四年に、小学生を中心に発足した新しい芸能団体です。この獅子舞は、初めは、飯田市伊賀良下殿岡地区の「下殿岡獅子舞保存会」の皆様から教えていただきました。

毎月第一木曜日の夜七時から練習をしています。上溝地区の敬老会や神事だけでなく、松尾地区の芸能まつりや文化祭、また、飯田病院での病院祭りなどで、獅子舞をひろくさせてもらい、上手に舞うことができ、とても喜んでもらいました。

今年の四月初めに、上溝地区区内巡行をしました。当日は、とても天気がよく、朝八時に、集会所をみんな元気に出発しました。午前中に下段をまわり、少しつかれましたが、お昼におにぎり四つに、パン二つを食べて元気が出ました。午後には上段をまわり、集会所に戻ってくる



と、なんと、林校長先生がぼくたちの獅子舞を見に来てくれました。少しつかれていたけど、最後の獅子舞を校長先生にひろうすることができました。これからも、楽しくやっています。ぜひ、見に来てください。よろしくお願ひします。

寺所地区

協力した資源回収

松尾小学校五年三組 柳 乃愛

私は、小学校の行事である六月の資源回収に参加しました。寺所地区の十二組あるうちの三組、四組を回収しました。初めは、朝早くめんどくさいと思っていたけど、自分の集めた物がどうなっていくのか気になって、最後までがんばってやることができました。荷物は、とても重くて、手がいたかったです。車の中には、集めた紙類、アルミ缶がいっぱい入っていました。私が公園に行った時にはもう、いっぱい集まっていた。でも、回収したアルミ缶の中にはちゃんとつぶしてないものもたくさんあって、私たち小学生や親のかたや、役員の人たちで、いっしょうけんめいアルミ缶をつぶしました。四年、五年、六年のほかに、ほかの学年も協力して、回収することができました。私は資源回収について知らないことが多い気になります。資源回収について知らない人にもいってほしいです。「なんのために、資源回収があるのかな？」と言っている人もいました。四年生以上の小学生が少ないなかで昨年より多く集められたので、少し時間もかかりました。いっぱい、重い物があって、トラックに入れるのが大変でした。みんな協力して、資源回収ができてすごく楽しかったです。

早く初めは「どうしてこんなに早朝にやるの？」と、思っていたけど、回収していたらすぐに時間が過ぎました。大変だったけど楽しかったので、あっという間に終わりました。



城地区

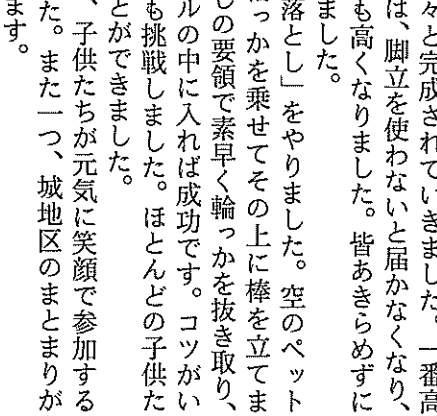
恒例！夏休みお楽しみ会

青少年健全育成会城支部長 甲田 剛寛

七月二十七日に、城の集会所にて毎年恒例のお楽しみ会が開催されました。今年の地区行事は雨の日が多く、子供たちは不完全燃焼に終わっていたことが多かったのですが、今回は室内だったので台風が来ようという問題ありません。六十名というたくさんの子供たちが参加してくれました。開催内容は、松尾サイエンススクールにお願いして二つの実験を行いました。

一つ目は「紙タワーをつくらう」です。身近にある紙の性質を学び、色々な形を作りタワーにします。九つの班に分かれて作戦を練り、同じ大きさの紙を丸めたり三角にしたり四角にしたり筒状に変形させて、どんどん積み上げて高さを競います。低学年から高学年まで、班の皆で知恵を出し合って、色々な形のタワーが次々と完成されていきました。一番高く積み上げた班は、脚立を使わないと届かなくなり、大人の身長よりも高くなりました。皆あきらめず最後まで挑戦しました。

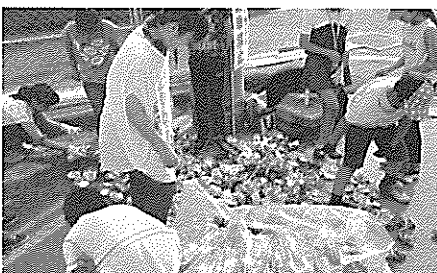
二つ目は「棒とし」をやりました。空のペットボトルの上に輪っかをつけてその上に棒を立てます。ダルマ落としの要領で素早く輪っかを抜き取り、棒がペットボトルの中に入れば成功です。コツがあるので何度も挑戦しました。ほとんどの子供たちが成功することができました。全体を通して、子供たちが笑顔で参加することが出来ました。また一つ、城地区のまとまりが強まったと思います。



地区だより



七月二十一日（月）に松尾小学校六年生を対象とした、モデルロケットの製作と打ち上げの教室を実施しました。当日は、おもしろ科学工房、松尾サイエンス、育成会のスタッフ二十四名により、児童達に作り方の指導を行い、雨模様の中ではありませんでしたが、本物の火薬で空高く打ち上げたロケットに、児童たちは歓びの声をあげていました。



今日、学校で科学実験教室がありました。そこでは、ロケットを作って打ち上げをしました。ロケットづくりは、ちょっと難しかったけど、大人の人が一緒に手伝ってくれたので、上手に作ることができました。製作だけでなく、アメリカ製の火薬（エンジン）の話とか、地球や木星などの星の話、人工衛星の話などたくさん話の星について話してくれました。私は、特に宇宙の話が好きでした。たくさんある星の中には、1,992kmとか142,984kmとか想像もできない位大きい星があることを知り、おどろきました。人工衛星で天気や、位置（GPS）がわかるのもすごいなと思いました。